

住民自治協議会だより

第42号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyuu@ngn.janis.or.jp

令和7年度 小田切住民自治協議会総会

4月18日開催

事業計画

住自協全体

- ・地域支え合い事業「お互助っ人」の推進
- ・乗合タクシー「かつら号」対応
予約業務と利用促進支援
- ・福祉自動車「ふれあい号」の運営支援
- ・第5回小田切夏まつりの開催
- ・講演会など地区全体集いの開催
- ・地域間交流事業の実施
- ・長野翔和学園との協働事業
- ・住自協だより発行
- ・「和輪話の会」を活用した地域づくり

総務・安全防災部会

- ・各区自主防災訓練の実施
- ・やまざと支援交付金事業、道路愛護活動
- ・明るい選挙推進と期日前投票の支援

福祉・健康部会

- ・「第3次小田切地区地域福祉活動計画」の推進
- ・第5回福祉大会の開催
- ・福祉委員会及び保健補導員会活動
高齢者の集い、喜寿祝賀会、サロン事業など
「小田切の里」健康おどりの継承
- ・民生委員児童委員活動
- ・招寿会（老ク）・交流センター協働講座

環境・地域活性化部会

- ・環境整備・美化活動推進及びゴミ集積所整備
- ・農作物の有害鳥獣対策
- ・地域活性化事業、観光推進事業の展開
- ・山里整備隊協働の環境整備、文化財保存支援

教育・文化部会

- ・地公連、交流センター連携の各種行事の推進
萬歳学級、スポーツ大会。世代間交流など
- ・社明運動、人権啓発活動などの住民集会開催

支所長挨拶



斎藤 昌孝

令和7年4月1日付で小田切支所長に着任しました。

3月までは若槻支所に支所長補佐として勤務しておりました。

市内には、27ヶ所の支所があります。そこへ中心市街地の5地区を加え、32の地区で独自の色を出しています。

小田切地区は、誰もが自分らしく、そして支えある地域を目指しています。一人ひとりが「自分らしい」を見つけること、そして、お互いが相手を思い、尊重しながら支えあうこと。

言葉にすると簡単に言えることですが、実践するのは大変です。でも、求める社会としては最高だと思います。私も一緒に目指して歩んでいきたいです。どうぞよろしくお願いします。

交流センター所長挨拶



北村 広志

小笠原所長の後を受け、4月より小田切交流センター所長となりました北村広志と申します。小中合わせて10校の学校に勤め、小田切は家庭訪問に伺ったことも

あって、その時と同じようにヤマドリやキジやリスが道先を横切る姿を見て懐かしく思いました。退職後、この3月まで3年間、不登校児童・生徒の居場所となる教育支援センターの仕事をしてきました。私は公民館活動が初めてで何かとご心配をお掛けすると思いますが、小田切交流センターでは様々な活動を通し、地域の皆様と共に人や自然の豊かな小田切を盛り上げたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

人事異動

●小田切支所

転入	支所長（若槻支所長補佐）	斎藤 昌孝
転出	文化芸術課長（支所長）	倉島 秀彦

●小田切交流センター

新任	所長（篠ノ井教育支援センター）	北村 広志
転入	係長（柳原交流センター係長）	新井 存 めぐみ
退任	所長	小笠原幹夫
転出	家庭・地域学びの課（専門員）	細井 秀人

令和7年度 一般会計収支予算

<収入>

公的補助金	市いきいき運営交付金	5,584,000
	地域福祉推進事業	1,450,000
	福祉のまちづくり事業等	200,000
負担金	各区負担金	1,000,000
	団体負担金等	121,000
繰入金	団体会計繰入	80,000
雑収入	募金事務費等	81,158
繰越金	前年度繰越	1,533,842
収入合計		10,050,000円

<支出>

事業費	総務・安全防災部会	810,000
	福祉・健康部会	2,339,000
	環境・地域活性化部会	617,000
	教育・文化部会	812,000
運営費	事務局費	4,146,000
配分・委託費	各区配分、団体補助等	404,000
繰出・積立金	特別会計、基金、積立金	793,500
予備費		129,500
支出合計		10,050,000円



人権教育促進協議会「地区推進員」の廃止

人権教育「地区推進員」は令和6年度をもって廃止されました。小田切地区の推進員は2名で、各区からの依頼で人権教育講座の講師を務め、助言や講義で人権教育や啓発事業に参画して役割を担ってきました。今後の各区研修会や人権教育講座等における講師派遣は、必要に応じ市担当課へ依頼することになります。DVDや啓発リーフレット等での研修は地域公民館長を中心に今までどおりです。

福祉自動車 利用料金改定

4月1日から800円に

長野市社協の地域たすけあい事業料金が改定され、小田切の福祉自動車「ふれあい号」の利用料金が4月1日より1回600円から800円になりました。

小田切地区の運転協力員は4月現在9名が登録されており、みなさんの協力を得て運行しています。

地区防災マップが完成

地域防災に全戸配布

令和5年より支所が区長会と作成していた小田切地区防災マップが完成し、2月区長会で全戸配布しました。マップは区単位に作られ、区内で過去に発生した災害情報や危険箇所、一時避難場所や土砂災害警戒区域のイエローゾーンやレッドゾーンも記載されています。

令和6年度 喜寿祝賀会

3月3日

喜寿祝賀会は雪降りの3月3日、妻科の「テラスグランツ」で開催しました。対象は昭和22年4月2日以降生まれの学年男12名、女11名の23名で7名が出席しました。



式典ではオカリナ演奏と祝賀会食でお祝いし、記念に置き時計が贈られました。

第21回 小田切文化芸能祭 6年ぶりの芸能部門復活 3月2日

小田切文化芸能祭は新型コロナウイルス感染症対策で、展示部門のみの開催が続きましたが6年ぶりに芸能部門が復活しました。午前中のみで開催でしたが歌を中心に12演目が披露され、ゲストは山上清利夫妻のマジックショーで、約130名が楽しみました。展示部門は22のサークルや個人から出展があり、会場はすべて1階で体育館とロビーに8日午前中まで展示されました。



「世界の国からこんにちは」(上宮)



「南京玉すだれ」(長野翔和学園)



「老いの季節」(国見)



「マジック」(山上夫妻)



「かつら号」A I オンデマンド運行へ 来年4月から

小田切の乗合タクシー「かつら号」は、令和8年4月からA Iを活用したオンデマンドシステム運行となります。この運行は6年度に信州新町・中条で始まり、今年度は戸隠・鬼無里で導入しました。来年4月から小田切・七二会エリアと信更・信里エリアで運行となり、同じエリア内は共通エリアとして相互利用できます。新しい運行形態や利用方法、既存路線バスの状況など地区内に周知し、より便利に利用できるよう移行を図ります。

NPO法人小田切オアシス

創立10周年記念式典

2/16

小田切オアシスは平成25年11月に設立、翌年4月27日に市民菜園がオープン。今年は新年祝賀式に先立ち、創立10周年記念式典を行い、永年の市民菜園利用者や法人発展に多大な貢献があった功労者に感謝状が贈られました。尚、オアシスの



の前身は22～23年の長野青年会議所「信州里山塾」と24～25年の「小田切うんめえ塾」です。

市民菜園開園式

4/19

今年は経験者向け第1菜園が12区画(約100～220㎡/区画)、初心者向け第2菜園が8区画(約70～90㎡/区画)で、料金は45円/㎡。利用者は通年募集していますので小田切住自協まで。



令和6年度9地区合同 「二十歳の門出を祝う成人式」

1月12日市芸術館

第3～5地区、芹田、古牧、三輪、浅川、若槻、小田切の9地区7公民館合同成人式が行われ、約700人が市芸術館に集いました。小田切地区は裾花中学校区の1名で、住自協から今年も地元の工房「框」製のがきサイズ写真立てを贈り祝福しました。



長野翔和学園 東屋にテーブル設置

長野翔和学園は、支所発支援金を利用して東屋にテーブル4台を製作設置しました。地域住民との交流の場づくりとして、既にベンチ2台は設置されており、地区内外からの訪問者がいい場として利用し、広がる北アルプスの一望や春の桜から新緑、紅葉に雲海など四季それぞれの風景が楽しめます。



交流センター自衛消防隊避難訓練

3/17



長野翔和学園学習成果発表会

3/20



巡礼桜 満開日に観桜会

4/17



小田切にも春



今冬、続いた雪と夜の校庭



積雪30cm超 2/5～9



シカ



カモシカ

やまびこ

中山間地域の路線バスの大幅減便や廃止問題が3月末突然でてきた。当地区「かつら号」の乗り継ぎに関わる鬼無里線や、高府線、新町大原橋線も対象路線となっている、川後線が廃止され西裾花団地線になって1年、ようやく乗り継ぎにもなじんできた感があり、来年4月にはA1システム運行となる「かつら号」だが、市街地までの延伸や状況に対応した利用し易いシステムを求めたい。